

この子たち夏の夏

1945・ヒロシマ ナガサキ



写真の下駄は広島平和記念資料館所蔵、市立第一高等女学校1年生、美代子さんの遺品。
動員学徒として建物疎開作業中、爆心地から550mの地点で被爆。
遺体は行方不明のまま二ヶ月後に母親が発見。母の着物で作った鼻緒であったため、
美代子さんの物と分かった。寄贈者は母、井上富子さん。(撮影:土田ヒロミ)

◆出演◆(五十音順)

一路真輝 (13日)

かとうかず子 (13日)

古村比呂 (14日)

島田歌穂 (13日)

高橋紀恵 (14日)

床嶋佳子 (14日)

西山水木 (13日)

根岸季衣 (13日)

原日出子 (13日)

死期がせまり、わたしも思わず、お母ちゃんもいっしょに行くからね、と申しましたら、
あとからでいいよ、と申しました。……お母ちゃんにあえたからいいよ、とも申しました。

2016年8月13日[土] 13時/17時・14日[日] 14時

■一般発売日=7月4日[月]

世田谷パブリックシアター

Simultaneous English translation will be provided at all performances. (Free rental of ear-sets)

■お問合せ=国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター
☎03-3478-2189 (平日11:00~17:00)

■主催=公益社団法人国際演劇協会日本センター

■提携=公益財団法人せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター

■後援=世田谷区/世田谷区教育委員会

■企画制作=地人会新社



RING!RING!
プロジェクト
読者の補助事業

この子たちの夏

1945・ヒロシマ ナガサキ

装 置 石井強司
照 明 古宮俊昭
効 果 深川定次
舞台監督 井川 学

短歌・俳句の朗読 高安智実
都内在学の
中・高校生

出演 (五十音順)



古村比呂 (14日)



かとうかず子 (13・14日)



一路真輝 (13日)



床嶋佳子 (14日)



高橋紀恵 (14日)



鳥田歌穂 (13・14日)



原日出子 (13・14日)



根岸季衣 (13日)



西山水木 (13日)

唯一の原子爆弾での被爆国である日本。日本人としての経験を記録でなく記憶に留めたいと、構成・演出の木村光一が遺稿や手記、詩歌など膨大な資料の中から、テーマを「母と子」に絞り朗読劇としてまとめたのが本作品です。
1985年の初演以来、全国47都道府県、397市町村で796回の公演を行ってきました。

「生きよつ、生き抜こう」と最後まで明日を夢み死んでいった子供たちの、明るく前向きな言葉。暑い夏の日、その言葉に耳を傾けてみて下さい。

■ヒロシマ・ナガサキにバクダンがおとされて、わたしとおなじくらいの子と男の子がなくなりました。せんそうは、もうしたくありません。(女性・7歳)

■出演者の方々の生の声を通して、本やテレビなどでは気づくことのなかった被爆者の気持ちや思いに気づかされた。(男性・13歳)

■生まれる前の出来事、経験のない出来事でも決して他人事でもなく、忘れてはいけない今にも続く出来事だと強く強く思いました。昔の問題じゃない今の問題だと考えさせられました。(女性・19歳)

■この一時間半で、どれだけ人が死ぬことが言われたらだろうか。人がとけるって何？皮膚剥けてはがれんの？できればもう聞きたくないけど、聞かなくちゃいけない気がする。(男性・19歳)

■戦争について教科書だけの知識しかなかったけれど、今回拝見してその当時の思い、親が子供に対して思う愛情、子供が親を呼ぶ気持ち、痛いほど伝わってきました。それと同時に何も知らない自分自身が恥ずかしくも感じました。(女性・21歳)

■観るたびに色々な感情が湧いて来ます。年一回大切なことを忘れないように観ています。改憲等、簡単に賛同している方、原発に簡単に賛同している方、ぜひ見て欲しいです。(女性・44歳)

■6人の女優は、この子たちの6人の母親でした。演ずる世代が違うとこんなにも印象が変わるものかと、前の舞台を見ていたので、そう思いました。祈りから希望へ、両方の舞台を見て、感じました。悲惨さだけでなく、生き抜いていく悲しい明るさも伝わってきました。(女性・52歳)

■戦後68年、当時を覚えていた方が少なくなっているだけに、今の若い世代に語りつがなくてはならないことだと痛感します。生きたくて生きられなかった人々の分も、一日一日大事に過ごさなくては...と思いました。(女性・69歳)

■被曝したその時、もし私とお母さんが一緒にいたら、きつとお母さんは火傷して腐臭をはなつ私でも抱きしめてくれるんだろうな、と、母の愛を深く今感じています。(無記入)

2016年
8月13日[土] [13時/17時]
14日[日] [14時]

世田谷パブリックシアター

■一般発売日 = 7月4日[月]

■主催
公益社団法人 国際演劇協会(ITI/UNESCO) 日本センター

■提携 = 公益財団法人 せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター

■後援 = 世田谷区/世田谷区教育委員会

■企画制作 = 地人会新社

■お問合わせ
国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター
☎03-3478-2189 (平日11:00~17:00)

■各種チケット料金[消費税込・全席指定]

一般 = 3,000円

高校生以下 = 1,500円(要年齢確認)

ファミリー割引(保護者同伴の中学生以下) = 1,000円

U24 = 1,500円(要事前登録・要年齢確認)(*)

せたがやアーツカード割引 = 2,900円(前売りのみ)(*)2

劇場友の会割引 = 2,800円(前売りのみ)

(*)1)詳細・お申し込みは世田谷パブリックシアターチケットセンターまたは劇場HPへ
(*)2)「せたがやアーツカード」に要事前登録(世田谷区在住の方対象)

■チケット取り扱い

[世田谷パブリックシアター] 03-5432-1515(電話・窓口10:00~19:00)

[PC] <http://setagaya-pt.jp> [携帯] <http://setagaya-pt.jp/m/>

[チケットぴあ](一般料金のみ) 0570-02-9999(Pコード451-621) <http://pia.jp/t/> (PC・携帯共通)

[イープラス](一般料金のみ) <http://eplus.jp> (PC・携帯共通)

[ローソンチケット](一般料金のみ) 0570-084-003(Lコード 32522)

0570-000-407(オペレーター対応10:00~20:00)

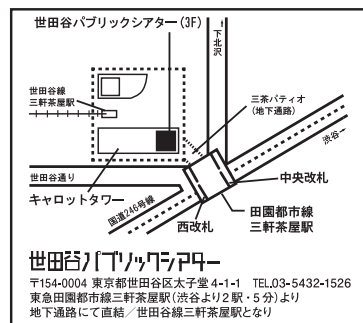
インターネット予約 <http://l-tike.com/> (PC・携帯共通)

※店頭販売 ローソン・ミニストップ店内Loppiで直接購入いただけます

■車椅子スペースのご案内(定員あり・要予約)
料金:一般料金より10%割引(付添者は1名まで無料)
申込:ご希望日の前日19時までに03-5432-1515
(世田谷パブリックシアターチケットセンター)へ

■託児サービスのご案内(定員あり・要予約)
料金:2,000円
対象:生後6ヶ月以上9歳未満(障害のあるお子様についてはご相談ください)
申込:ご希望日の3日前の正午までに03-5432-1526(世田谷パブリックシアター)へ

Simultaneous English translation will be provided at all performances. (Free rental of ear-sets)



RING!RING!
プロジェクト
読者の補助事業